

平成27年度 地域在宅医療連携推進事業報告

平成28年3月20日

羽島市在宅医療・介護連携推進協議会

会長(羽島市医師会 担当理事) 渡邊元博

羽島市高齢福祉課 山内勝宣

羽島市在宅医療連携推進事業

1. 会議の開催
2. 地域の医療・福祉資源の把握および活用
3. 研修の実施
4. 地域包括、ケアマネへの支援
5. 効率的な情報共有のための取組
6. 地域住民への普及啓発

事業推進体制

○羽島市在宅医療・介護連携推進協議会
を立ち上げ

○メンバー：医師会、歯科医師会、薬剤師会
ケアマネ、訪問看護ステーション
訪問介護事業所、通所介護事業所
市民病院、地域包括支援センター
行政代表者

1. 会議の開催

○協議会を平成27年6月から28年1月まで
計 7回開催

- | | | | |
|-----|--------|------------------|----|
| 第1回 | 6月2日 | 今年度の事業計画について | ほか |
| 第2回 | 7月7日 | 在宅医療マップの掲載項目について | ほか |
| 第3回 | 8月4日 | 研修会について | ほか |
| 第4回 | 9月1日 | 普及啓発パンフレットについて | ほか |
| 第5回 | 10月13日 | 研修会、認知症ケアパスについて | ほか |
| 第6回 | 11月17日 | 研修会反省、普及啓発について | ほか |
| 第7回 | 1月19日 | 平成28年度事業について | ほか |

2. 地域の医療・福祉資源の把握 および活用(1)

- 協議会において、マップ掲載項目を検討の後、各事業所へのアンケートによりデータを収集
- 市内に事業所が少ないサービス(訪問看護、訪問介護、訪問入浴介護)については、市外の事業所の情報の掲載
- 羽島市の広報誌に折り込み、市内全戸配布
約2万世帯

2. 地域の医療・福祉資源の把握 および活用(2)

掲載事業所数合計 204

<内訳>

診療所 34

歯科診療所 27

調剤薬局 16

訪問看護ステーション 9

(市外7事業所含む)

介護事業所 92

(市外5事業所含む)

障がい者福祉施設 26



3. 研修の実施(1)

○目的

医療・介護・福祉関係者の顔の見える関係作り

○開催日時

平成27年10月25日(日)13:30~15:00

○研修内容

第1部 講師 田辺鶴瑛氏による講演

第2部 グループワーク

○参加者 医療・介護・福祉関係者 100名

3. 研修の実施(2)

○アンケート結果

- 講演内容

 - 「良かった」「大変良かった」94%

- グループワーク

 - 「良かった」「大変良かった」93%

- 多職種の人と顔合わせが出来て良かった。

- グループワークの機会をもっと増やしてほしい。

3. 研修の実施(3)



＜田辺鶴瑛先生の講演の様子＞



＜グループワークの様子＞

4. 地域包括、ケアマネへの支援

○かかりつけ医の地域ケア会議への出席について検討し、必要に応じケア会議において支援を行うこととなった。

5. 効率的な情報共有のための取組

○市が介護認定者向けに配布している「ふれあい手帳」やクラウドシステムMCSに利用について検討した。

⇒平成28年度も検討を継続する。

6. 地域住民への普及啓発(1)

○羽島市の健幸展(12月13日(日))において、「在宅医療コーナー」を設け、在宅医療の普及啓発を行った。

<在宅医療の普及啓発のために作成したパンフレット>



6. 地域住民への普及啓発(2)



＜在宅医療に関する相談の様子＞



今年度の反省と来年度へ

○グループワークでは、1グループ10人で時間が30分しかなく、十分な議論が出来なかった。

○在宅医療の普及啓発について、健幸展には健康に興味がある人が集まるため、在宅医療コーナーに興味を持つ人が少なかった。

⇒平成28年度は、

○研修会(グループワーク)の回数を増やす。

○普及啓発は、単独でイベントを開催する。